



CPDM

Center for Photodynamic Medicine
Kochi Medical School, Kochi University

NEWS LETTER 光線医療センター

2026年 第5号

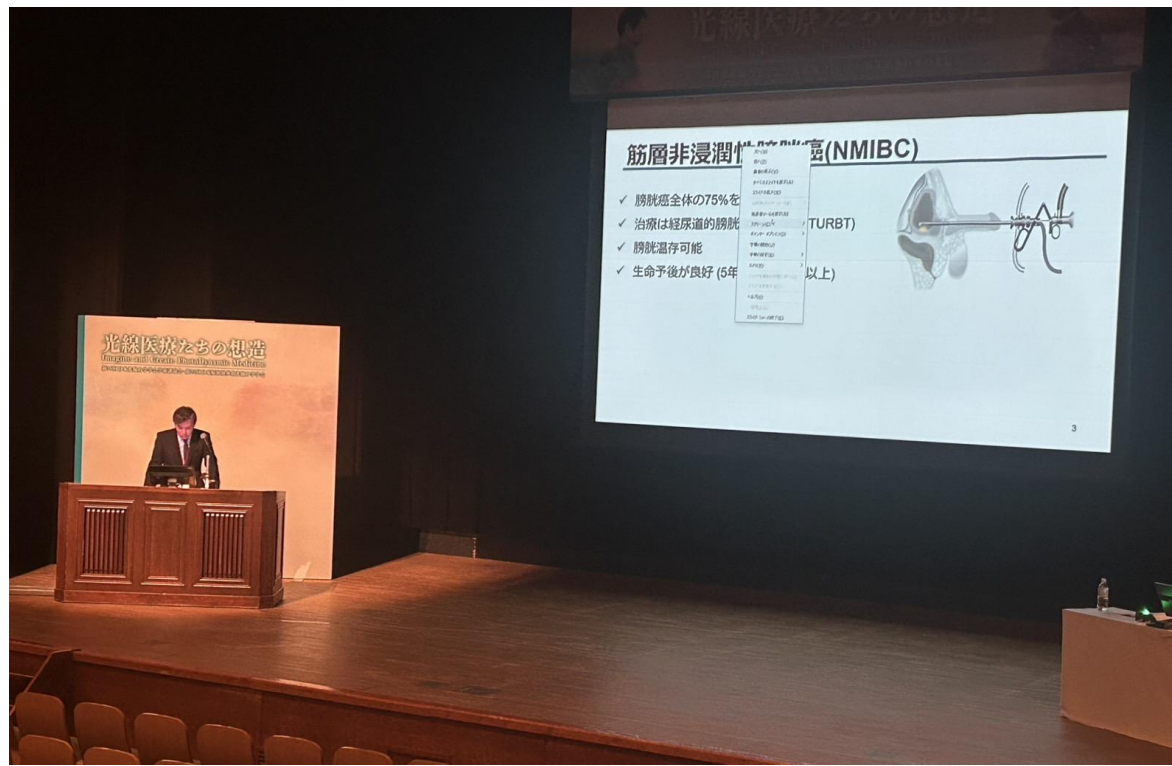
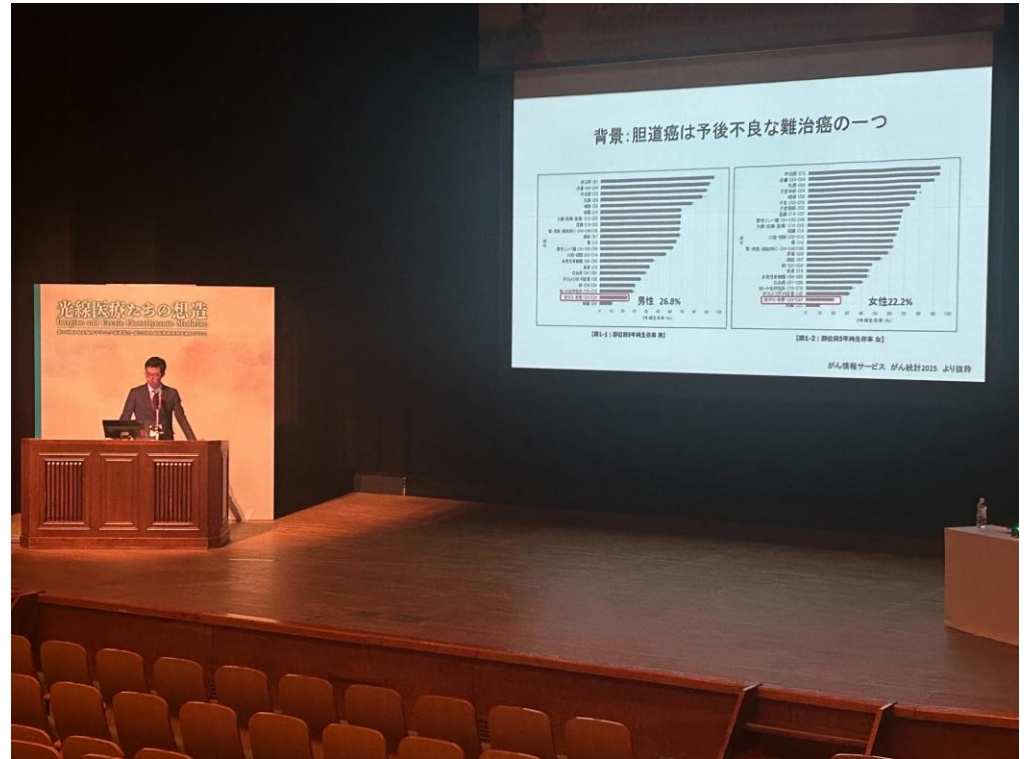
第36回日本光線力学学会学術講演会・第22回日本脳神経外科光線力学学会を開催

2026年5月22日(金)-23日(土)の2日間、第36回日本光線力学学会学術講演会を、井上啓史センター長が大会長として新来島高知重工ホール(高知県立県民文化ホール)で開催しました。この第36回講演会は、第22回日本脳神経外科光線力学学会(会長:石川栄一先生(筑波大学 医学医療系脳神経外科 教授))、との2学会学術集会を、同時に合同で開催されました。光線医療たちの構造をテーマとして、盛会に終わりました。多くの参加者により活発な討議がなされ、実り多い学会となりました。

5月22日(金)には、合同シンポジウムで泌尿器科 山本 新九郎先生から「光線力学技術と人工知能の融合による泌尿器手術支援システム開発」、一般演題として東京科学大学から笠井 咲綺さんから「低酸素応答抑制によるアミノレブリン酸を用いた光線力学治療効果の検証」、医学部6年生 山口 頌太さんから「光線力学的治療と免疫チェックポイント阻害薬併用による抗腫瘍効果に関する多発担癌マウスモデルを用いた前臨床検討」の発表が行われました。5月23日(土)には、泌尿器科 重久 立先生から一般演題として「膀胱癌における光線力学診断偽陰性病変の分子病理学的解析-同一症例内のPDD陽性病変との比較-」、「尿路上皮癌細胞株に対するALA-PDTとFGFR阻害剤併用の抗腫瘍効果」、薬剤部 佐川 喬也先生から一般演題として「メタアナライシスによる5-Aminolevulinic Acid光線力学診断下経尿道的膀胱腫瘍切除における術中低血圧のリスク因子探索」、東京科学大学 小倉 俊一郎先生から特別講演として、「アミノレブリン酸を用いた光線治療の変遷」、光線医療センター Pustimbara Anantya先生からシンポジウムとして「Enhancement of ALA-Based Photodynamic Therapy Efficacy Through Hemin-induced Modulation of ABCG2 Transporter and ROS-Mediated Oxidative Stress」、泌尿器科 深田 聡先生から「筋層非浸潤性膀胱癌における5-アミノレブリン酸を用いた光線力学診断(ALA-PDD)の現状と症例展望」、脳外科 川西 裕先生から「ICG内視鏡を用いた脳実質内腫瘍の術中蛍光診断」、外科 川西 泰広先生から「胆道癌細胞株に対する5-アミノレブリン酸を用いた光線力学診断についての検討」の発表が行われました。

光線医療センターの関係者から、多くの演題の発表が行われました。また重久先生が最優秀演題賞、笠井さんと山口さんが優秀演題賞を受賞しました。受賞おめでとうございます。





光線医療 関連発表および論文

下記の光線医療関連の学会発表および論文が発刊されました。

(論文発表)

[筆頭著者] Shigehisa Ryu

Discordant fibroblast growth factor receptor 3 (FGFR3) expression between photodynamic diagnosis-positive and -negative bladder cancer lesions: An intra-patient paired analysis. Photodiagnosis Photodyn Ther. Apr 22;59:105488. doi: 10.1016/j.pdpdt.2026.105488.

[筆頭著者] Shigehisa Ryu

Assessment of the Diagnostic Value of the UF-5000 Parameter Atyp.C in Upper Tract Urothelial Carcinoma.

Cancer Diagn Progn. 2026 May 1;6(3):493-501. doi: 10.21873/cdp.10549.

(学会発表)

[筆頭] Shigehisa Ryu

“Screening performance of Atyp.C, a UF-5000 parameter, for upper tract urothelial carcinoma.” The 113th Annual Meeting of the Japanese Urological Association (JUA2026), Kyoto, April 24, 2026.

[筆頭] Yamamoto Shinkuro

“Pathological Characteristics and Cause-specific Diagnostic Accuracy of a Deep Learning Model for False-positive Photodynamic Diagnosis of Bladder Cancer.”

The American Urological Association annual meeting (AUA2026). Washington D.C., US, May 15, 2026.

[筆頭] 前田 将宏

“Medical Imaging Projection System(MIPS)を用いた大腸癌手術の検討.”

第126回日本外科学会定期学術集会、2026年4月23日

光線医療センター ニュースレター

2026年 5月 25日 発行

発行責任者・編集責任者：井上 啓史

(高知大学医学部 光線医療センター センター長)

文責：福原 秀雄

<https://www.kochi-u.ac.jp/kms/CPDM/index.html>